

## いじめ見逃しゼロキャラバン（11月7日）を行いました

### 【胎内市立中条中学校を訪問しました】



中条小学校と胎内小学校の6年生も加わって、いじめ見逃しゼロスクール集会が開かれました。初めに仲間づくりの活動が行われました。グループになってハイタッチなどのアイスブレイクや、児童生徒が一緒になっての縦割りの話合い活動が行われ、参加者が互いに打ち解ける雰囲気をつくりました。

次に生徒会が制作したSNS

に関わるトラブルの創作劇を見ました。その後、全員合唱、いじめ防止・いじめ見逃しゼロを誓い合いました。



### 【胎内市立中条中学校でのキャラバン活動】

#### ◇新交企画（県民運動・協賛団体） 棚村 克巳 さんのお話



いじめは学校だけではなく、会社や社会でも起きている問題です。ストレスや上下関係の誇示などが背景にあります。しかし、人はそれぞれに個性や役割があり、等しく尊重されるべき存在です。それが集団になり群れると、自分の気持ちを抑えたりいじめが起きたりします。だからこそ自分自身がしっかりしてアイデンティティをもつことが大切です。完全無欠な人はいません。そんな人同士が互いを認め合い、かけがえのない中学校生活、3年間の青春時代を創っていきましょう。

#### 【生徒の感想】

- いじめについてとても熱く話していただいた。いじめはいけないと改めて思った。
- 人それぞれに個性があり、皆違ったよさがあるってよいのだと分かった。「流されずに自分のあり方を決める」という言葉に感銘を受けた。

#### ◇教育研修コーチング協会（県民運動・協賛団体） 伊佐早 悦子 さんのお話



感情にはどのようなものがありますか。感情をコントロールすることは簡単でしょうか。感情のコントロールは難しいことですが、対処法として深呼吸をしたり、自分の感情を書き出して自覚したりする方法があります。いじめはどのような感情の時に起こるかという、排除、いらいら、怒り、不安などマイナスの感情がある時です。それを自覚していないと、いじめがさらにエスカレートしていきます。ですからいじめに対処するには、立ち止まって自分自身のことを考えること、自分の感情を自分でコントロールしてマイナスの感情をプラスに変えることが大切です。

#### 【生徒の感想】

- 全員で共有して話合いをしたので、自分が思い浮かばないことも「そうだな」と共有できよかった。
- 感情をコントロールすることで自分にブレーキをかけることができることを知った。相手がどんな気持ちになるかを考えることも必要だと思った。

